

データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 森嶋 厚行



データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っている。こうした背景を踏まえ、昨年に引き続き、情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画するに至った。DEIMフォーラムで発表された研究を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集したところ、22編の応募があり、厳正な査読の結果、研究会推薦論文をはじめとする8編の論文を採録することとなった。更に、現在注目されている大規模データ解析分野のサーベイとして、名古屋大学石川佳治教授から「大規模データアナリティクスに関する研究動向と展望」、また、最先端データベースエンジンの成果として、東大喜連川優教授グループの「100ドライブ規模のディスクストレージ環境におけるアウトオブオーダ型データベースエンジンOoODEの間合せ処理性能試験」と、ビッグデータ時代にふさわしい2編の招待論文を掲載することができた。

今回の特集では、今日のデータ工学と情報マネジメントの研究コミュニティの広がりを象徴するように、大規模データ解析、多次元情報検索、プライバシー保護、画像データ、クラウドストレージ、データベース

エンジンまで、幅広いトピックの論文を網羅している。この特集が、データ工学と情報マネジメントの研究コミュニティを中心に、真に社会に役立つIT革新を生み出す契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げます。特に、編集幹事の京都産業大学 中島伸介先生、筑波大学 鈴木伸崇先生、筑波大学 天笠俊之先生には、編集作業全般にわたり多大な御尽力を頂いた。更に、学会出版事務局の高木久恵様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集ならびにDEIMフォーラムをはじめ、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後ますます発展していくことを強く祈念するものである。

もりしま かつゆき
森嶋 厚行（正員） 筑波大学知的コミュニティ基盤研究センター/図書館情報メディア系教授。1998年筑波大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。2001年、The Second Runner-up for the Best Paper Award for ACM SIGMOD2001。2003年度情報処理学会論文賞。2008年度日本データベース学会上林奨励賞。2012年度日本データベース学会論文賞。2010年～2014年科学技術振興機構さきがけ研究者。情報処理学会データベースシステム研究会幹事、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会副委員長等を経て、現在、日本データベース学会理事等。これまで、VLDB、SIGMOD、ICDE、EDBT、CIKM、ECDL、DASFAA、ICADL、DBCrowd、UnCrowd、XSym、PersDB等のプログラム委員や実行委員等。ACM、IEEE-CS、電子情報通信学会、情報処理学会、日本データベース学会各会員。

